

高校相撲 金沢大会

東高校が準優勝

強豪報徳・金市工を撃破



高校相撲金沢大会で準優勝となり飛田秀一大会長から表彰を受ける金沢学院東高校のメンバー＝石川県卯辰山相撲場

金沢学院東高校相撲部は、五月二十七日に金沢市の石川県卯辰山相撲場で行われた第九十一回高校相撲金沢大会に出場し、初めて準優勝を果たしました。決勝で惜しくも富山商業に敗れたものの、準々決勝で報徳学園、準決勝で金沢市立工業の強豪を破つての快進撃に応援席はわき返りました。

東高校は先鋒武田恭平（二年）、中堅遠藤聖大（同）、大将矢鋪光太郎（三年）の布陣で臨みました。予選三回戦を3勝9点の城北を破って勝ち上がった



快進撃に沸く応援席

富商に苦杯を喫しました。大澤恵介監督は「インタ―ハイで、金沢大会の悔しさを晴らしたい」と選手に発破をかけています。

重量挙げ ラッシュ

世界選手権の代表選考を兼ねて五月二十五日から三日間、東京で行われた重量挙げの全日本選手権で、金沢学院の学生、教職員の優勝が相次ぎました。

男子77キログラム級で新谷義人（職員）、女子63キログラム級で橋田麻由（大学3年）、同69キログラム級で齋藤里香（東高教員）、同75キログラム級で城内史子（東高職員）が優勝しました。新谷はジャークで186キログラム、橋田はスナッチで89キログラムの日本新をそれぞれ記録しました。世界選手権の代表は、六月中に発表の予定です。

新谷義人選手



橋田麻由選手



齋藤里香選手



城内史子選手



全日本選手権で 学生・教職員

東高新校舎の安全祈願
金沢学院東高校の校舎新築工事安全祈願祭は六月七日、金沢市の藤棚白山神社で行われ、平成二十一年春の完成に向けて、関係者が工事の無事を祈りました。



発行・広報室

本学などで募集説明会
金沢学院大学・短期大学の平成二十年度学生募集説明会は五月二十四日から六月五日まで、七尾の五会場で順次行われました。このうち五月三十日に行われた本学会場「写真左」では、石田寛人学長が「世の中の状況に即応した教育を行うことがポイント」などと述べました。十九年春の志願実績や、大学院の人文文学系研究科設置準備について説明がありました。